

潮香だより



第 1 1 号

発行日：令和2年1月8日（水）
発行責任者：校長 坂本 貴洋

“今から、ここから、始めよう！” ～新しい年の新しい目標に向かって～

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、本校の教育活動に様々な面からのご支援ご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。本年も教職員一同、小名浜第一小学校の子どもたちのより良い成長を願い、皆様と共に協力し合いながら学校教育の更なる向上を目指して邁進して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

「一年の計は元旦にあり」と言います。新年は、目標を掲げれば何でもできそうな気持ちになる時です。ご家庭でも、「〇〇を始めよう」「〇〇を続けよう」と新たな決意について話されたことと思います。小名浜第一小学校の269名の子どもたちは、一年の始まりにどのような目標を抱き、決意新たに計画を立てたのでしょうか。自分の目標に向かって努力することを願っています。しかし、目標に対して努力し続けることは簡単なことではありません。明日から始めよう、3学期になったら始めよう等と考えているうちに、いつの間にか気持ちが薄らいでしまうことも少なくありません。そうならないように、子どもたちを励まし、小さな成果でも認め、応援していきたいと思えます。相田みつをさんの“今から、ここから”の言葉のとおり、始め、やり遂げられるようにし、よい一年にしていけたらと考えています。

いよいよ今日から3学期が始まります。3学期は、一年間の中で一番短くあっという間に終わってしまいます。しかし、一年の締めくくりであると同時に次の学年への準備期間でもあり、大切な期間です。およそ3ヶ月後には、6年生は小学校の全教育課程を終え本校を卒業し、中学校へ進学します。1～5年生も次学年へ進級します。私たち小名浜一小の教職員は、一人一人の子どもたちを見つめ、日々の教育活動を大切にしていきたいと思えますので、今年も引き続き温かく力強いご支援をよろしくお願いいたします。



さて1月2・3日、多くの方が第96回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝2020)を観戦した

ことと思います。今年は開始から百年、そして令和最初の記念すべき大会となりました。結果は、青山学院大学が10時間45分23秒という大会新記録で2年ぶり5度目の総合優勝を果たしました。10区間中7区間で大会新記録が生まれるなど、とてもレベルの高い大会になりました。県内所縁の選手も活躍し、東洋大の相澤選手(学法石川出身)、明治大の阿部選手(学法石川出身)が2区・7区で区間新記録を樹立しました。どの大学も、それまでの努力の積み重ね、目標に向かって走るひたむきさ、自分が出場できなくてもサポートしてくれる仲間との結び付きなど、私たちにたくさんのお話を伝えてくれました。一本の「襷(たすき)」を繋いでいく駅伝の素晴らしさが感動を与えてくれました。

小学校でも、同じ教室で学び合う友だち、同じ学校で学ぶ上級生や下級生がいます。3学期は、自分の周りにはいる小名浜一小の仲間を意識しながら、自分が成長し、そして周りの仲間と共に磨き合い一緒に成長することができるよう支援していきたいと考えています。

3学期は…「つなぐ！」



3学期の合言葉は、「つなぐ！」。目の前にいる子どもたちの姿を改革の出発点とし、優れた点や未だ及ばざる面をしっかりと見極め、英知を集め、改善策を練り、全教職員の経営参画と協力体制で今年度のまとめを確実にやり、次年度へ向けて「つなぐ！」学期にしていきたいと考えています。

①現学年の学習内容を、確実に身につけさせて進級・進学させる。

(次学年、中学校へ「つなぐ」)

②6年生が中心となって築き上げてきた新たな伝統を、さらによりよいものにしていく。

(小名浜第一小学校の伝統を「つなぐ」)

③本年度の教育活動の反省と、学校評価の分析をしっかりとやり、次年度の計画を立てる。

(次年度へ「つなぐ」)

50日間という短い学期ですが、本校の児童・教職員がこの3つ柱を常に意識しながら取り組んでいきたいと考えています。